

特別成果加算(無罪等)請求書
＜刑事(被疑者・即決事件を除く)・少年共通＞

提出日 年 月 日

弁護士 (登録番号)

事件番号

下記の事由がありましたので、特別成果加算報酬を請求します。

＜刑事事件＞

1 無罪等 * 請求する箇所をチェックしてください。

① 全部無罪 (公訴事実を争った。)

判決主文において公訴事実の全部について無罪が言い渡された。

② 一部無罪 (公訴事実を争った。)

判決主文において公訴事実の一部について無罪が言い渡された。

* 公訴事実中、無罪となった部分を記載してください。

③ 縮小認定等 …… 弁論要旨の添付をお願いします。 公訴事実を争った。 (ア) 起訴状記載の公訴事実が法定刑に死刑の定めのある罪に係るものであったが、判決に示された罪となるべき事実は、法定刑に死刑の定めのない罪に係るものであった。 (イ) 起訴状記載の公訴事実が死刑又は無期若しくは短期1年以上の懲役若しくは禁錮にあたる罪に係るものであったが、判決で示された罪となるべき事実はこれらの罪以外の罪に係るものであった。 刑の減免事由の存在を争った。

判決理由において刑の減免事由に該当する事実が認められ、かつ刑の免除が言い渡され、又は法令の適用において刑の減軽がされた。

* 「刑の減免事由」とは、法律上の刑の減軽又は免除がなされる事由をいいます。酌量減軽のみがなされた場合は加算対象とはなりませんので、ご注意ください。

 (ウ)

* 判決理由において認められた刑の減免事由をチェックしてください。

 過剰防衛 過剰避難 法律の不知 心神耗弱 自首 未遂 従犯
 その他()-----
＜少年事件＞ 2 非行事実なし (非行事実を争った。) …… 意見書の添付をお願いします。

送致事実の全部又は一部について、非行事実が認められず保護処分に付さない旨の決定がなされた。

* 一部非行事実なしのときは、非行事実なしとなった罪名を記載してください。